

平成 28 年度第 2 回多治見市女性活躍会議 会議要旨

日時 平成 29 年 3 月 24 日（金）午前 10 時～正午

場所 多治見市役所駅北庁舎 3 階 保健センター研修室

出席委員 加藤智子会長、谷口幸子副会長、伊藤千里委員、木下貴子委員
佐藤秀樹委員、鈴木亜紀子委員、高木正典委員、土屋昭弘委員
水野隆夫委員

欠席委員 伊藤静香委員、加藤裕子委員、川上幸代委員

事務局 鈴木企画部長、柚木崎企画防災課長、山田課長代理、牧戸主任、加藤主事

関係部局 くらし人権課、子ども支援課、教育総務課、産業観光課、保健センター

ー以下会議要旨ー

1 会長挨拶

国が女性の活躍推進に取り組む中、小池東京都知事の活躍には感心する。多治見市においても女性活躍を推進するため、この会議がある。次年度からは体制を変えるが、若い委員の皆さんからの意見は大切なものである。忌憚のないご意見を頂戴したい。

2 第 1 回会議要旨（案）の確認

修正の申し出がなければ、（案）の通りとする。

3 議題

（1）第 1 回会議以降の事業の進捗について（報告）

ア 多治見市特定不妊治療費助成事業の実施について（保健センター）

<保健センター>

資料 1 に沿って取組状況を報告。

【意見交換】

- ・ 申請者のプライバシーを守る配慮はするか。
- ・ （保健センター所長）助成に係る手続きは、医療機関と保健センターが連携して行っていく。申請者のプライバシーが守られるよう、必要に応じて個室で相談を受けるなど、十分に配慮していく。

イ 「親子でおでかけMAP」について（企画防災課）

<事務局>

資料 2 に沿って取組状況を報告。

【意見交換】

- ・ 施設や店舗を実際に利用した人の声であり、良い取組だと思った。
- ・ ぽかぽか広場は、親戚がよく利用している。前回の会議での提案が具現化され、嬉しい。

- ・ (事務局) ぼかぼか広場の利用者が互いの生の声を交換できる掲示板として、続けていきたい。
- ・ 気軽に情報収集できることが利点であると思う。
- ・ 口コミを書いた人にとっては、誰かの役に立っている、社会と繋がっているなどと、達成感を感じられる手法である。
- ・ 駅北庁舎を利用しない人のためにも、各地域の公民館などでも巡回して行ってはどうか。より多くの情報を得ることもできる。
- ・ (事務局) 地域ごとに情報収集、発信できるような方法を考えていきたい。
- ・ 各地域の情報をお互いに交換できるような方法も考えられると良い。
- ・ (事務局) 同じ空間を利用する人同士の情報交換の場、ということも大切にしたいと考えている。御意見を踏まえ、検討する。
- ・ 児童館など、親子がよく利用する場で同様の取組ができると良い。
- ・ 「親子」に限らず、「孫とのおでかけ」という視点でも情報発信ができると良いのではないか。
- ・ 共働き世帯が増えており、祖父母と子どもでのお出かけ、という視点も今後、大切になるだろう。
- ・ 他地域の情報は、なかなか得難い。インターネットでも情報は得られるが、多治見市のような規模の町では、店舗数に対して口コミ数が追いついていない。アナログな手法がかえって情報の信頼性を高めているとも思う。お店の人にも見て頂き、意識の変革を期待したい。
- ・ 口コミに対して、例えば、「いいね」などのリアクションが取れるような工夫をするなど、発展させていってほしい。
- ・ この会議の場での意見が具現化して嬉しい。好評を得ているので、続けていってほしい。
- ・ NHKの連続テレビ小説「べっぴんさん」のストーリーにもあるように、女性達が、自らの経験や交流から商品を改善・開発する動きが素晴らしいと感じる。ここで得られる情報を基に、ますます町が活性化すると良い。

(2) 視察 (駅北庁舎 3 階次世代育成フロア)

<事務局>

現地を確認しながら説明。

【意見交換】

- ・ 保護者と子どもの様子が見られてよかった。「親子でおでかけMAP」の取組も、実際に見て、更に発展した形にしていけると良いと思った。
- ・ 以前の保健センターと比べ、綺麗で羨ましい。「親子でおでかけMAP」は、子育て世代以外の人も見られる場所に設置すると良いのではないか。
- ・ 多治見が子育てしやすい町だという印象を広めていくことが大事。「親子でおでかけMAP」は、良い口コミを得たお店にとっても嬉しいこと。掲載されたお店にも、何らかの方法でお伝えしてはどうか。
- ・ 女性活躍は、「人」がテーマ。子どもが生まれ、育ち、社会に出るという事がなければ、社会は発展しない。この駅北庁舎 3 階次世代育成フロアは、そういう意味で素晴らしい

い。環境がしっかりしていると、相談者も安心して相談できる。今日、子どもから高齢者まで、利用者の方々の様子を見ていて、そう感じた。

(3) 多治見市男女共同参画推進審議会との統合における引継事項（意見交換）

【意見交換】

- ・ 男女共同参画推進審議会委員としての経験から、お話しする。女性活躍会議とは議題が重なっていることが多い。大きな違いは、男女共同参画推進審議会は「人権」が中心にあること。経済や地域の活性化という視点は、最近になって出始めた話題。会議の統合後は、女性がどう活躍していくのか、という視点を取り入れられると良い。
- ・ （事務局）女性活躍の理念を男女共同参画推進審議会に引き継いでいく。
- ・ 岐阜県においても、「女性が活躍できる社会の実現」を重視している。当初は、「人手がないから女性や外国人を『活用する』。」という言い方がされていた。企業の規模や業種によって、女性活躍のあり方は様々だということを念頭におかなければならない。大企業が行う事が全てではない。多治見市の事業所の規模や、事業所の勤務形態に合ったあり方を考えてほしい。次世代を担う人材の育成は、女性活躍の推進からである。

(4) その他

<事務局>

参考資料1～4について説明